

豚熱の感染が疑われる野生いのししが 県内で発見されました

県で実施している野生いのししの豚熱感染状況調査にて、令和2年11月豚熱の野外感染が疑われる個体が確認されました。

本個体について国で感染の有無を確認していますので、判明次第改めてお知らせいたします。

豚熱の野外感染が疑われる個体が発見された場所

山県市梅原地内（令和2年11月12日捕獲）

山県市大桑地内（令和2年11月13日捕獲）

計2頭

参考：県内で最後に野外株に感染したイノシシが発見された場所

山県市梅原（令和2年8月2日捕獲）

～農場を守るために～

① 野生動物の侵入対策

防護柵や防鳥ネットの破損を改めて確認しましょう。

② 豚舎に入場する人・物品の消毒

各豚舎専用の衣服、長靴を使用しましょう。

③ 適切なワクチン接種

豚熱ワクチン接種適期推定法を活用しましょう。

各農場の豚熱抗体検査データを用いてワクチン接種適期を推定します。（ご希望でしたら下記へご連絡ください）

異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。

中央家畜保健衛生所：TEL 058-201-0530